

図書館展示

# 3.11をこえて

～復興と防災を考える～

平成24年6月25日(月)～7月28日(土)

大阪樟蔭女子大学図書館(関屋館)

期間	場所
2012年6月25日～7月28日	関屋図書館 1・2階閲覧室



# 展 示 資 料

## 防 災

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
地震と防災：“揺れ”の解明から耐震設計まで	武村雅之	中央公論新社	2008	080  C64  1961
この地名が危ない：大地震・大津波があなたの町を襲う	楠原佑介	幻冬舎	2011	080  G34  241
マンションの地震対策	藤木良明	岩波書店	2006	080  I95  O-1036
火山噴火：予知と減災を考える	鎌田浩毅	岩波書店	2007	080  I95  O-1094
都市防災	吉井博明	講談社	1996	080  Ko19  A-1332
未曾有と想定外：東日本大震災に学ぶ	畑村洋太郎	講談社	2011	080  Ko19  A-2117
これからの防災・減災がわかる本	河田恵昭	岩波書店	2008	081.9  I95  603
リーダーシップと安全の科学	原子力安全システム研究所, 社会システム研究所編	ナカニシヤ出版	2001	361.43  G34
防災都市・神戸の情報網整備：神戸市広報課の苦悩と決断	神戸市広報課編著	ぎょうせい	1996	361.45  T99  Ko13
都市防災とコミュニティ	地域社会研究所編	地域社会研究所	1996	361.7  Ti2  113
パニックの人間科学：防災と安全の危機管理	安倍北夫	ブレーン出版	1986	369.3  A12
災害ユートピア：なぜそのとき特別な共同体が立ち上がるのか	レベッカ・ソルニット著/高月園子訳	亜紀書房	2010	369.3  So34
Megaquake：巨大地震	NHKスペシャル取材班, 主婦と生活社ライフ・プラス編集部編	主婦と生活社	2010	369.31  N69
教師のための防災教育ハンドブック	山田兼尚編	学文社	2007	374.92  Y19
地震と火山の 100 不思議：地震予知・火山噴火予知の最前線	神沼克伊〔ほか〕著	東京書籍	2004	453  Ka37
チェルノブイリの森：事故後 20 年の自然誌	メアリー・マイシオ著/中尾ゆかり訳	日本放送出版協会	2007	468  My
最悪の事故が起こるまで人は何をしていたのか	ジェームズ・R・チャイルズ著；高橋健次訳	草思社	2006	509.8  C45
★放射能のウソ・ホント：食の安全は？ 身体への影響は？	大谷浩樹監修	東京書店	2011	539.33  H91
★「僕のお父さんは東電の社員です」：小中学生たちの白熱議論!3・11 と働くことの意味	毎日小学生新聞編；森達也著	現代書館	2011	543.5  Mo45
巨大台風から日本を守れ：富士山頂・男たちは命をかけた	NHK 編	NHK ソフトウェア	2001	V210  P94  1

## 災 害

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
流言蜚語	清水幾太郎	筑摩書房	2011	080  C44  シ 26-1
震災にゆらぐ	今井清一編著	筑摩書房	2008	080  C44  ニ 9-6
地震の日本史：大地は何を語るのか	寒川旭	中央公論新社	2007	080  C64  1922
地震と噴火の日本史	伊藤和明	岩波書店	2002	080  I95  O-798
日本の地震災害	伊藤和明	岩波書店	2005	080  I95  O-977
天災と国防	寺田寅彦	講談社	2011	080  Ko19  C-2057
自然災害の行動科学	安倍北夫, 三隅二不二, 岡部慶三編	福村出版	1988	140.8  O95  3
歴史を変えた火山噴火：自然災害の環境史	石弘之	刀水書房	2012	208  Se22  E-1
日本防災百年史	行政通信社編纂	行政通信社	1990	317.79  G99
災害と日本人：巨大地震の社会心理 新版	廣井脩	時事通信社	1995	361.5  H71
近代日本の災害：明治・大正・昭和の自然災害	テクノバ・災害研究プロジェクト編	テクノバ	1993	369.3  Te31
★ 遺体：震災、津波の果てに	石井光太	新潮社	2011	369.31  I75
災害がほんとうに襲った時：阪神淡路大震災 50 日間の記録	中井久夫	みすず書房	2011	369.31  N34
阪神・淡路大震災の記録：平成 7 年 1 月 17 日：怖かった阪神淡路の大震災大人になっても忘れない	大阪府生活文化 部防災局消 防防災課編集	大阪府生活文化 部防災局消 防防災課	1997	369.31  O73
地震・噴火災害全史	災害情報センタ ー, 日外アソシ エーツ編	日外アソシエー ツ/紀伊國屋書店	2008	369.31  Sa17
東日本大震災：読売新聞報道写真集		読売新聞東京本 社	2011	369.31  Y81
台風・気象災害全史	宮澤清治, 日外 アソシエーツ編	日外アソシエー ツ/紀伊國屋書店	2008	369.33  Sa17
★ 東日本大震災石巻災害医療の全記録：「最大被災地」を医療崩壊から救った医師の 7 ヶ月	石井正	講談社	2012	408  B94  1758
日本の自然災害 改訂	力武常次, 竹田 厚監修	国会資料編纂会	2003	450.981  Ko43
日本の自然災害 1995-2009 年		日本専門図書出 版	2009	450.981  Ko43  2
写真集日本の自然災害：東日本大震災襲来：津波による原発事故も収録		日本専門図書出 版	2011	450.981  N71
海の怪物津波		東芝/東宝東和 株式会社	1997	DVD778  N57



## 復興

	書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
	阪神・淡路大震災と図書館活動：神戸大学「震災文庫」の挑戦	稲葉洋子	人と情報を結ぶWEプロデュース/ 西日本出版社	2005	017.716  I51
	復興計画：幕末・明治の大火から阪神・淡路大震災まで	越澤明	中央公論新社	2005	080  C64  1808
★	震災と情報：あのとき何が伝わったか	徳田雄洋	岩波書店	2011	080  I95  O-1343
	心のケア：阪神・淡路大震災から東北へ	加藤寛, 最相葉月	講談社	2011	080  Ko19  A-2121
	大震災後の社会学	遠藤薫編著	講談社	2011	080  Ko19  A-2136
	あなたにもできる災害ボランティア：津波被害の現場から	スベンドリニ・カクチ著/大倉弥生訳	岩波書店	2005	081.9  I95  525
	心を蘇らせる：“こころ”の傷を癒すこれからの災害カウンセリング	河合隼雄, 日本臨床心理士会, 日本心理臨床学会	講談社	1995	146.8  Ka93
	阪神大震災の被災者にラジオ放送は何かできたか：「被災していない人への情報はいらぬ！」と言いつづけた報道者たち	毎日放送	同朋舎出版	1995	361.45  T99  5
	震災とメディア：復興報道の視点	山中茂樹	世界思想社	2005	361.45  T99  Y34
	震災・神戸の社会学：被災地へのまなざし	安保則夫編	八千代出版	1999	362.9  A56
★	できることをしよう。：ほくらが震災後に考えたこと	糸井重里, ほぼ日刊イトイ新聞	新潮社	2011	369.3  I91
	M9.0 東日本大震災：ふくしまの30日：2011年3月11日午後2時46分	福島民報社編集	福島民報社	2011	369.31  F84
	復興・防災まちづくりの社会学	岩崎信彦〔ほか〕編	昭和堂	1999	369.31  H29  3
	災害と心の癒し：兵庫県臨床心理士たちの大震災	兵庫県臨床心理士会編	ナカニシヤ出版	1997	369.31  H99
	心理学者がみた阪神大震災：心のケアとボランティア	城仁士〔ほか〕編	ナカニシヤ出版	1996	369.31  J56
★	河北新報のいちばん長い日：震災下の地元紙	河北新報社	文藝春秋	2011	369.31  Ka19
	震災報道いまはじまる：被災者として論説記者として一年	三木康弘	藤原書店	1996	369.31  Mi24
	復興の道なかばで：阪神淡路大震災一年の記録	中井久夫	みすず書房	2011	369.31  N34
	被災者の心のケア	岡堂哲雄編	至文堂	1996	369.31  O38
	阪神大震災はや5年まだ5年：被災者たちの復旧・復興	産経新聞大阪本社編集局, 大阪市立大学宮野研究室共著	学芸出版社	2000	369.31  Sa65

震災ボランティアの社会学：「ボランティア=NPO」社会の可能性	山下祐介, 菅磨志保	ミネルヴァ書房	2002	369.31  Y44
東日本大震災 :1 か月の記録 : 2011年 3月 11日 ~4月 11日 : 読売新聞特別縮刷版		読売新聞東京本社	2011	369.31  Y81
東日本大震災と子どものそだち	『そだちと臨床』編集委員会編集	明石書店	2011	376.11  大学院
大災害と子どものストレス : 子どものこころのケアに向けて	藤森和美, 前田正治編著	誠信書房	2011	493.937  F62
Aera 4/25 臨時増刊 震度7を生き残る	朝日新聞社編	朝日新聞社	2012	
Aera 5/14	朝日新聞社編	朝日新聞社	2012	

## 原発 エネルギー

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
核爆発災害 : そのとき何が起こるのか	高田純	中央公論新社	2007	080  C64  1895
偽善エネルギー	武田邦彦	幻冬舎	2009	080  G34  147
低炭素社会	小宮山宏	幻冬舎	2010	080  G34  164
放射能と生きる	武田邦彦	幻冬舎	2011	080  G34  218
報道災害「原発編」: 事実を伝えないメディアの大罪	上杉隆, 烏賀陽弘道	幻冬舎	2011	080  G34  221
内部被曝の真実	児玉竜彦	幻冬舎	2011	080  G34  228
★ 原発訴訟	海渡雄一	岩波書店	2011	080  I95  O-1337
チェルノブイリ報告	広河隆一	岩波書店	1991	080  I95  O-168
原発事故はなぜくりかえすのか	高木仁三郎	岩波書店	2000	080  I95  O-703
核兵器のしくみ	山田克哉	講談社	2004	080  Ko19  A-1700
原発報道とメディア	武田徹	講談社	2011	080  Ko19  A-2110
原発社会からの離脱 : 自然エネルギーと共同体自治に向けて	宮台真司, 飯田哲也	講談社	2011	080  Ko19  A-2112
電力改革 : エネルギー政策の歴史的大転換	橘川武郎	講談社	2012	080  Ko19  A-2145
原発を考える 50 話 新版	西尾漢	岩波書店	2006	081.9  I95  529
放射能分析	石森達二郎	共立出版	1965	433.08  Ki59  27
自然エネルギー大全	手作りエネルギー研究会編	家の光協会	2005	501.6  Te95
生存の条件 : 生命力溢れる太陽エネルギー社会へ	地球環境問題を考える懇談会 [編]	旭硝子財団	2010	519  Se19  1
人間の顔をした科学	高木仁三郎	七つ森書館	2001	539.04  Ta29
放射線のひみつ : 正しく理解し、この時代を生き延びるための 30 の解説	中川恵一著/寄藤文平イラスト	朝日出版社	2011	539.6  N32
新原子炉お節介学入門 : 次代に何を残せるか。戦わないで得られる、将来の『国産エネルギー』のための体験的基礎講座	柴田俊一	一宮事務所/エネルギーフォーラム	2005	539.82  Sh18

ベルリンからの手紙：放射能は国境を越えて	山本知佳子	八月書館	1989	539.9  Y31
原子力のことがわかる本：原子爆弾から原子力発電まで	舘野淳監修	数研出版	2003	539  Ta94
沈黙の未来：旧ソ連「核の大地」を行く	広河隆一	新潮社	1992	543.5  H71
なぜ、日本が太陽光発電で世界一になれたのか 第2版	「NEDO books」編集委員会編	新エネルギー・産業技術総合開発機構	2007	543.8  N61
原発のウソ	小出裕章	扶桑社	2011	B  8605
知ってなっとく!地層処分	経済産業省資源エネルギー庁企画制作	経済産業省資源エネルギー庁	2008	DVD539.6  Ke29
Aera 6/18	朝日新聞社編	朝日新聞社	2012	

★印は小阪図書館所蔵の資料

展示資料以外にも資料を所蔵しています。  
蔵書検索システム OPAC を使って検索してください。